

沖縄県振興審議会における産業振興部会の概要
及び調査審議の進め方について

令和元年8月2日

沖縄県商工労働部産業政策課

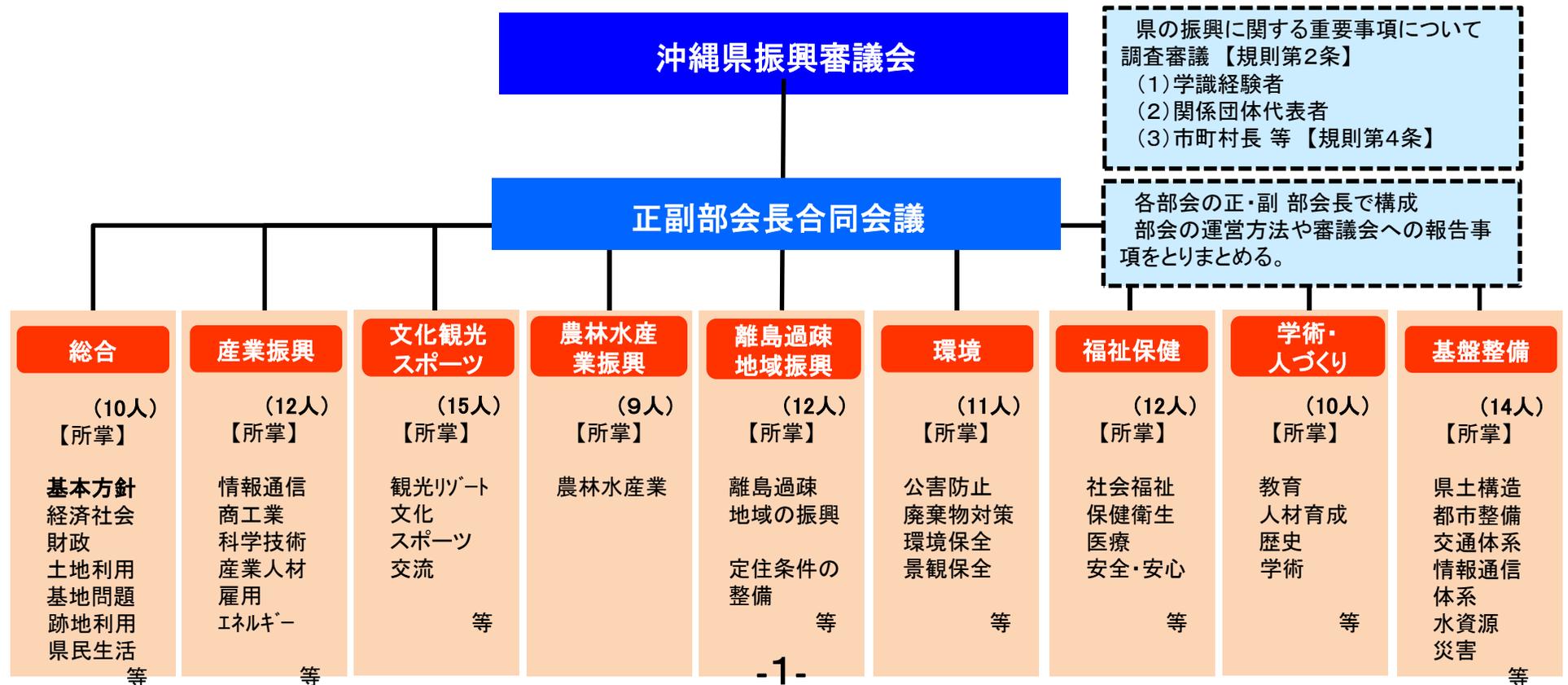
沖縄県振興審議会について

1 沖縄県振興審議会における調査審議の基本方針について

沖縄県では、これまでの施策の効果検証を行って、新たに顕在化した課題及び対応策を洗い出し、今後の施策の方向性を示すことで、新たな振興計画の策定に資すること等を目的とした総点検を実施し、今般「**沖縄21世紀ビジョン基本計画(沖縄振興計画)等総点検報告書(素案)**」をとりまとめ、本審議会へ諮問したところである。

※令和元年7月16日沖縄県振興審議会申し合わせ

2 審議会の組織



総点検報告書の構成(案)

第1章 総説

- 1 第1次沖縄振興開発計画から現行の基本計画までの策定の背景、目標の推移や計画の目標について、**成果と課題**を総括し、**新たな沖縄振興計画**や、**計画に基づく支援及び新たな振興制度創設の必要性**を示す。
- 2 これまでの**成果や課題**、「**新沖縄発展戦略**」の**基本的な方向**を踏まえ、**今後の沖縄振興の方向性**を示す。

第2章 沖縄振興の現状と課題

- 1 戦後以降の我が国及び本県の**経済社会の動向**を概観する。
- 2 **2つの基軸と分野ごと**に**復帰からの沖縄振興の成果と課題**、**今後の方向性**を示す。
- 3 **人口・労働力**、**主要な経済指標の動向**や**社会経済フレーム(計画展望値)**の**成果と課題**、**今後の方向性**を示す。

第3章 基本施策の推進による成果と課題及びその対策

ビジョン基本計画の第3章で示している「基本施策」の体系に沿って、**施策展開ごと**に「**成果・現状**」を示すとともに、「**課題及び対策**」、**今後の施策展開の方向性**を示す。

第4章 克服すべき沖縄の固有課題

ビジョン基本計画の第4章「**克服すべき沖縄の固有課題**」について、**成果及び課題**を明らかにするとともに、**今後の施策展開の方向性**を示す。

第5章 圏域別展開

ビジョン基本計画の第5章「**圏域別展開**」について、**成果及び課題**を明らかにするとともに、**今後の施策展開の方向性**を示す。

産業振興部会の概要について

1 産業振興部会の所掌事務

産業振興部会は、沖縄県振興審議会の所掌事務である「県の振興に関する重要事項の調査審議」のうち、情報通信関連産業、商工業、科学技術、産業人材育成(他部会の所掌に属するものを除く。) 雇用、エネルギー等に関することを所掌事務とする。

2 産業振興部会の組織・委員の構成

産業振興部会は、県内の学識経験者や関係団体代表者から選考された、12名の振興審議会委員及び専門委員により構成されている。

部会長及び副部会長については、令和元年7月16日の第68回沖縄県振興審議会において、審議会会長からその職を指名されている。

✓委員の任期：令和元年7月16日から令和4年3月31日まで

【主な審議事項】

- ・「沖縄振興計画等総点検報告書(素案)」
- ・「新たな振興計画(素案)」※令和2年度以降に調査審議予定

3 今後のスケジュール

(参考)7月16日(火) 第68回沖縄県振興審議会において諮問

7月下旬～11月中旬 各部会での審議(各月1回、合計5回程度を予定)

✓11月までに部会における調査審議の結果をとりまとめる。

12月中旬 正副部会長会議(各部会長からの報告、答申案協議)

12月中旬 第69回沖縄県振興審議会において答申

4 具体的な調査審議スケジュール

回次	日時予定	議題（調査審議事項）				
		検討テーマ（予定）	第2章該当箇所	第3章該当箇所	第4章該当箇所	第5章該当箇所
第1回	8月2日 (金)	1.部会概要・審議の進め方 2.個別テーマ ① 低炭素島しょ社会の実現 ② 伝統工芸産業の振興	・文化	・低炭素島しょ社会の実現 ・文化産業の戦略的な創出・育成 ・離島の特色を活かした産業振興と新たな展開	関連箇所 ・エネルギー ・工芸産業 等	関連箇所 ・エネルギー ・工芸産業 等
第2回	8月20日 (火)	1.第1回部会関係 (質疑への応答など) 2.個別テーマ ① 沖縄の魅力を生かした新産業の創出 ② 製造・中小企業等の振興	・新リーディング産業振興 (知的・産業クラスターの形成等) ・製造・中小企業等の振興	・科学技術の振興と知的・産業クラスターの形成 ・沖縄の魅力や優位性を生かした新たな産業の創出 ・地域を支える中小企業等の振興 ・ものづくり産業の振興と地域ブランドの形成	関連箇所 ・離島特産品 ・産業人材の育成 等	関連箇所 ・産業イノベーションの推進等
第3回	9月5日 (木)	1.第2回部会関係 (質疑への応答など) 2.個別テーマ ① 雇用対策 ② 産業を担う人材の育成	・雇用対策 ・人材育成	・子育てセーフティネットの充実 ・雇用対策と多様な人材の確保 ・産業振興を担う人材の育成	関連箇所 ・雇用対策 ・産業人材の育成 等	関連箇所 ・雇用対策 ・産業人材の育成 等
第4回	10月25日 (金)	1.第3回部会関係 (質疑への応答など) 2.個別テーマ ① 情報通信関連産業の高度化・多様化 ② 国際物流拠点の形成	・社会基盤整備 (那覇空港の機能強化・物流ネットワーク等) ・情報通信関連産業振興 ・新リーディング産業振興 (国際物流拠点の形成)	・自立型経済の構築に向けた基盤の整備 (那覇空港の機能強化・物流ネットワーク) ・情報通信関連産業の高度化・多様化 ・アジアと日本の架け橋となる国際物流拠点の形成	関連箇所 ・物流機能 ・離島の情報産業振興 等	関連箇所 ・物流機能 ・情報産業振興 等
第5回	11月12日 (火)	1. 審議結果のとりまとめ				

沖縄21世紀ビジョン総点検の調査審議の進め方について

産業振興部会における調査審議のスケジュールについて

部会の2週間前までに

- ・開催通知・意見書の提出依頼(事務局→委員等)
※委員は1週間前までに意見を事務局へ提出

産業振興部会

- ・委員意見への対応方針案の回答(事務局)
- ・検討テーマの調査審議
(上記テーマに係る意見(事前提出分)への対応方針案の回答)

部会の1週間後までに

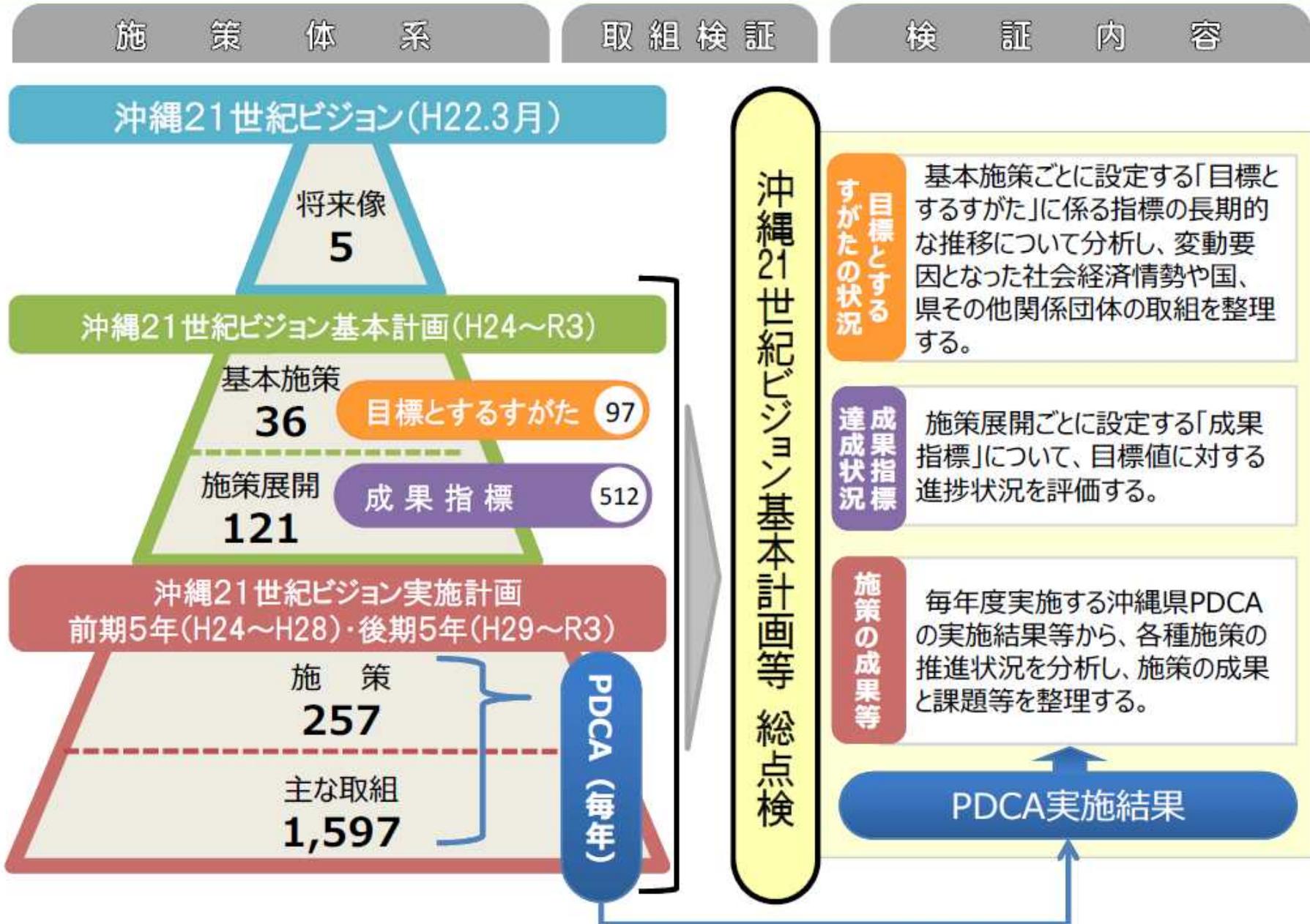
- ・会議資料をホームページへ掲載する

次の部会までに

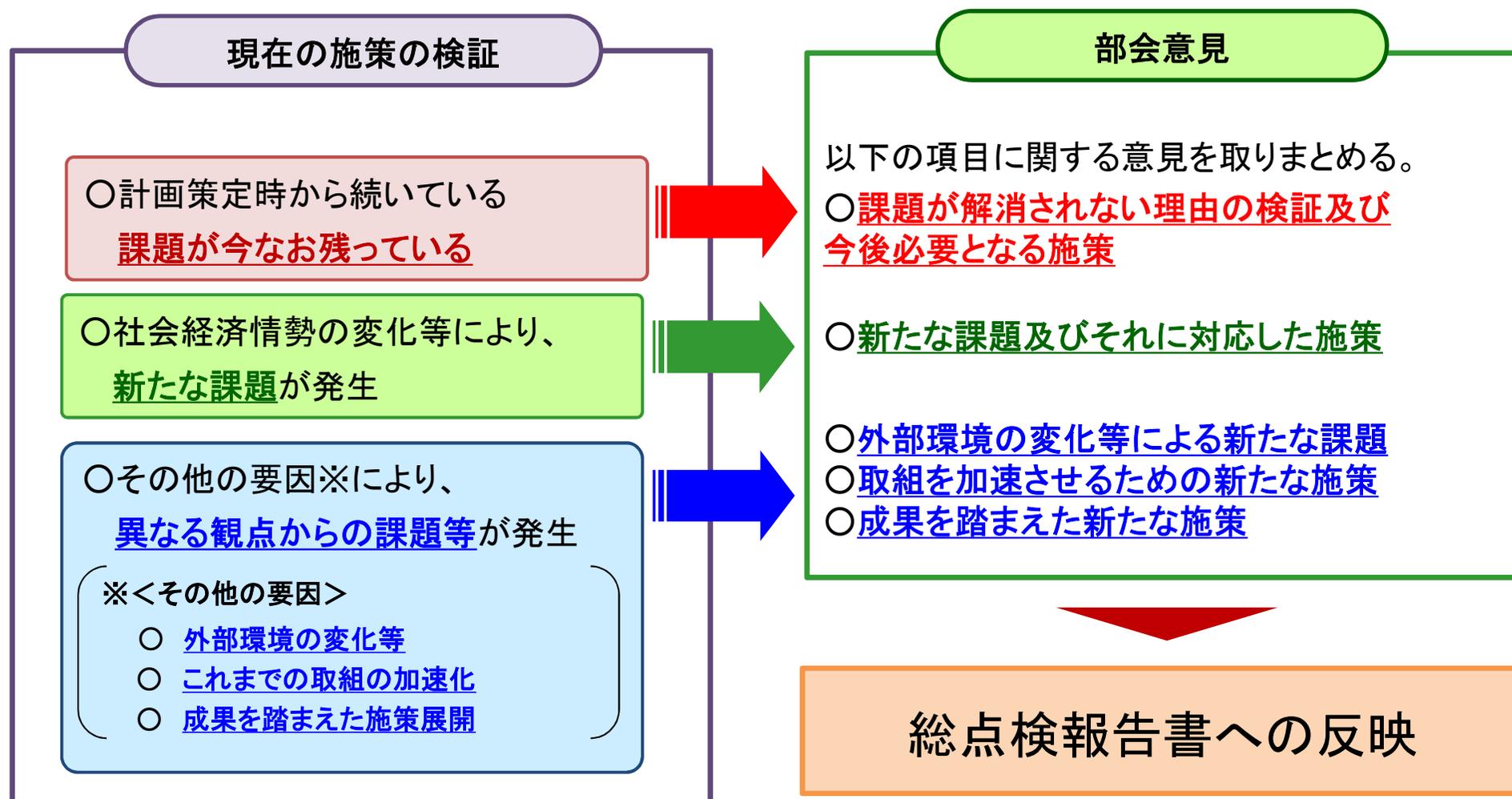
- ・議事要旨確認(事務局→部会長)

毎月1回、合計5回程度部会を開催し、11月の部会において、部会意見の最終とりまとめを行い、正副部会長合同会議において報告し、答申案を協議決定する。

総点検における検証内容について①



総点検における検証内容について②



上記の検証においては、所管の事項について、「沖縄21世紀ビジョン検証シート」を参考に、総点検報告書(素案)における該当箇所を明らかにした修正意見、「新たな課題」や「重要性を増した課題」についての意見等を取りまとめ、部会における調査審議の結果とする。

沖縄21世紀ビジョン基本計画等検証シートについて

検証シートとは

検証シートは、施策展開に位置づけられた成果指標の動向に、政策ツールである予算事業や沖縄振興特別措置法に基づく税制、特例措置、配慮規定等がどのような影響を与えたか、外部環境などの背景や要因を分析することを目的に作成するものであり、**部会の議論の参考となる資料**である。

検証シートを活用した審議の具体的な視点

- ・目標は達成されているのか？
- ・**目標が達成できていない理由は何か？** 取組不足？外部要因？
- ・これまでの取組は目標の達成にどの程度寄与していたのか？



検証シートの見方について①

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅷ 希望と活力にあふれる豊かな島
基本施策番号・名称	3-(9) ものづくり産業の振興と地域ブランドの形成
施策展開番号・名称	3-(9)-ウ 安定した工業用水・エネルギーの提供

成果指標					背景・要因の分析	
成果指標	目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況		
1. 工業用水の給水能力	30,000m ³ /日	30,000m ³ /日 (H23年度)	30,000m ³ /日 (H30年度)	達成	(1)工業用水の給水能力【達成】 工業用水の給水能力の平成30年度実績値は基準値(平成23年度)の30,000m ³ /日を維持しており、計画値を達成している。 引き続き老朽化した工業用水道施設の計画的な更新や耐震化の推進に努める。	
2. 送電用海底ケーブル新設・更新箇所数	9箇所	0箇所 (H23年度)	3カ所 (H30年度)	進展遅れ		
政策ツール					(2)送電用海底ケーブル箇所数【進展遅れ】 送電用海底ケーブルによる老朽化等のため更新が行われていない箇所は安定して供給され実績値は「進展遅れ」となっている。	
主な予算事業						
事業・取組(事業年度)	事業の種類	事業費(うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
工業用水道施設整備事業(H24～R3)(企業局)	県事業 ハード交付金	317百万円 (99百万円)	工業用水道施設の更新に合わせて耐震化を推進する	【H30年度目標】 導水トンネル改良の工事・設計	【H30年度実績】 導水トンネル改良の工事・設計を実施(コンクリート欠損区間の補修等を実施)	継続
海底ケーブル新設・更新の促進(H26～H27)(商工労働部)	県事業 ソフト交付金	729百万円 (583百万円)	県島における電力の安定的かつ適切な供給を確保するため、海底ケーブルを敷設	【H27年度目標】 沖縄本島～渡嘉敷島間のケーブル敷設	【H27年度実績】 沖縄本島～渡嘉敷島間のケーブル敷設完了	達成

21世紀ビジョン基本計画において各施策展開ごとに設定した成果指標を記載

成果指標に関連する主な予算事業を記載

※全ての関連事業を記載しているわけではなく、予算の大きいものや成果指標達成への寄与度の高いものを中心に記載

各成果指標について、達成状況とその背景や要因を記載

記載内容を元に達成状況の検証や今後の課題等の洗い出しを実施

産業振興部会所管の成果指標や事業・取組等は、赤線で囲って表示

検証シートの見方について②

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅲ 希望と活力にあふれる豊かな島			
基本施策番号・名称	3-(9) ものづくり産業の振興と地域ブランドの形成			
施策展開番号・名称	3-(9)-ウ 安定した工業用水・エネルギーの提供			
政策ツール				背景・要因の分析
税制等				
経費削減の目的	適用対象・金額 (24～29年度)	目標値(%)	実績値	達成状況
努力義務・配慮義務・特例措置				
沖縄法典文番号・品出し	実施名称	減額(%)		

施策展開に関連する沖縄振興特別措置法に基づく税制や努力義務、特例制度等を記載

部会所管の項目については赤枠で囲んでいる。

成果指標及び予算事業に係る達成状況の評価基準について

成果指標に係る達成状況の評価基準

平成24年度から30年度までの成果指標の達成度(%)により評価

(算定式) 達成率 = (H○実績値 - 基準値) / (H33目標値 - 基準値)

(区分) 「目標達成」: 100%超 「達成見込」: 70%~100%未満

「進展」: 50%~70%未満 「進展遅れ」: 50%未満

予算事業に係る達成状況の評価基準

評価年度における成果指標の達成率(%)により評価

(算定式) 達成率 = (評価年度実績値 - 基準値) / (評価年度目標値 - 基準値)

(区分) 「達成」: 90%超 「概ね達成」: 75%~90%未満

「進展」: 60%~75%未満 「進展遅れ」: 60%未満

産業振興部会における審議の進め方について

事務局にて「検討テーマ」ごとの資料2「調査審議資料」による事務局説明

1. 「総点検報告書(素案)本文(検討テーマの関連箇所表示抜粋版)」
2. 検証シート:成果指標、政策ツール → 背景・要因の分析
3. 提出のあった意見書の読み上げ → 委員の意見に対する県の考え

「検討テーマ」に対する部会委員による審議

1. 提出のあった委員意見に対する県の考え方についての審議
2. 提出意見以外の「総点検報告書(素案)」本文における修正意見
3. 提出意見以外の自由意見

産業振興部会における意見

審議結果(案)
のとりまとめ



当部会審議事項
とするかの確認

産業振興部会以外の意見

委員及び専門委員は、総点検全てに
ついて意見を述べる事ができる。

申し送り事項について審議

その他の事項について

○他の部会への出席及び意見書の提出について

産業振興部会の委員及び専門委員は、部会長の許可を得て他の部会へ出席し、意見を述べることができる。他の部会へ参加しようとする際は、当該部会の1週間前までに部会出席申請書を提出する必要がある。

また、産業振興部会の委員及び専門委員は、会議開催の1週間前までに各部会担当課を通じて各部会長に委員の意見書を提出することができる。

※日程、出席申請等の詳細は、各部会のホームページ参照

○議事録及び議事要旨について

各部会においては、会議終了後2週間以内を目処に正副部会長に確認の上、議事録及び議事要旨を作成し、県ホームページで公表する。

部会における議事等の詳細については、事前配布の「沖縄県振興審議会部会における調査審議方針

(令和元年7月16日沖縄振興審議会正副部会長合同会議申し合わせ)」参照